

臨床腫瘍学

担当講座	臨床腫瘍学講座	問合せ先	臨床腫瘍学講座
分野責任者	板持 広明 教授	連絡先	内線2082
担当教員	板持 広明 教授		
人材育成の基本理念	(1) 臨床腫瘍学の高度の知識を有し、臨床腫瘍学領域の基礎的・臨床的研究ができる臨床研究者を育成する。 (2) がん薬物療法専門医を取得できる高度臨床医を育成する。		
主な研究内容	臨床腫瘍学領域の基礎的・臨床的研究を行う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	標準化学療法や臨床試験を実施するとともに、がん細胞株を用いた分子標的薬の作用機序の研究を行うことにより、基礎的・臨床的研究ができる臨床腫瘍医となる。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる(英文が望ましい)	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)がんの発生・進展機構・疫学・病態を説明できる。	臨床腫瘍学セミナー1	
	(8)がん薬物療法の基礎的・臨床的概論を説明できる。	臨床腫瘍学セミナー2	
	(9)がん薬物療法の有害事象の基礎的・臨床的概論を説明できる。	臨床腫瘍学演習1	
	(10)がん薬物療法の臨床試験の計画・立案・実施ができる。	臨床腫瘍学演習2	
	(11)がん薬物療法の候補化合物を用いてその効果と作用機序を明らかにすることができる。	臨床腫瘍学演習3	
(12)がん薬物療法のチーム医療を実践できる。	臨床腫瘍学演習4		
資格取得等	がん治療認定医・がん薬物療法専門医取得を目指す。		
履修に関する情報	社会人大学生など、勤務先等で授業に出席できない場合は、日程等の調整に応じる。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論(2単位)」に加えて、選択必修科目「がんのベーシックサイエンス」を履修することが望ましい。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに必要な単位	備考
研究特論	1～4年	講義 臨床腫瘍学セミナー1	通年	15	2	20単位	
		講義 臨床腫瘍学セミナー2	通年	15	2		
		演習 臨床腫瘍学演習1	通年	30	4		
		演習 臨床腫瘍学演習2	通年	30	4		
		演習 臨床腫瘍学演習3	通年	30	4		
		演習 臨床腫瘍学演習4	通年	30	4		
特別研究	2年	特別研究Ⅰ(初期審査)	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者対象科目
	3年	特別研究Ⅱ(中間審査)	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ(論文作成)	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

臨床腫瘍学

コード	MD14251010				MD14251020				MD14251030				MD14251040			
科目	臨床腫瘍学セミナー1				臨床腫瘍学セミナー2				臨床腫瘍学演習1				臨床腫瘍学演習2			
科目責任者	板持広明				板持広明				板持広明				板持広明			
担当者	板持広明				板持広明				板持広明				板持広明			
会場	臨床腫瘍学講座医局				臨床腫瘍学講座医局				臨床腫瘍学講座医局				臨床腫瘍学講座医局			
区分等	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年15コマ	配当年次	1~4	回数	通年15コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4
主な授業内容	悪性疾患の基礎				がん薬物療法の基礎				がん薬物療法の有害事象				臨床試験概論			
教育成果	がんの発生・進展機構・疫学・病態を説明できるようになる。				がん薬物療法の基礎的・臨床的事項を説明できるようになる。				がん薬物療法の有害事象の基礎的・臨床的事項を説明できるようになる。				がん薬物療法の臨床試験の計画・立案・実施方法を説明できるようになる。			
SB到達	分野の達成目標 (7)				分野の達成目標 (8)				分野の達成目標 (9)				分野の達成目標 (10)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学学生】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学学生】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	新臨床腫瘍学 改定第5版															

コード	MD14251050				MD14251060				MD14259010				MD14259020			
科目	臨床腫瘍学演習3				臨床腫瘍学演習4				特別研究 I				特別研究 II			
科目責任者	板持広明				板持広明				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	板持広明				板持広明				各指導教員				各指導教員			
会場	臨床腫瘍学講座医局				臨床腫瘍学講座医局				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3
主な授業内容	がん薬物療法の応用				悪性疾患におけるチーム医療				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備			
教育成果	がん薬物療法の候補化合物を用いてその効果と作用機序を説明できるようになる。				がん薬物療法のチーム医療を説明できるようになる。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査> 2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。			
SB到達	分野の達成目標 (11)				分野の達成目標 (12)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)				分野の達成目標 (3) (4) (5) (6)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学学生】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学学生】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	新臨床腫瘍学 改定第5版															

●各科目の授業計画

コード	MD14259030												
科目	特別研究Ⅲ												
科目責任者	各（正）指導教員												
担当者	各指導教員												
会場	各指導教員と相談の上決定												
区分等	区分	演習	単位	2									
	回数	通年15コマ	配当年次	4									
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備 												
教育成果	<p>生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p><論文作成> 学位申請までに実施。</p> <p>論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。</p>												
S B O 目 標 達	<p>分野の達成目標</p> <p>(3) (4) (5) (6)</p>												
特記事項	<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。</p>												
評価方法	<p>「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。</p>												
講義日程	時間割参照												
教科書 参考書													

●時間割

臨床腫瘍学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20				臨床腫瘍学セミナー1・2		共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30	臨床腫瘍学演習1	臨床腫瘍学演習2	臨床腫瘍学演習3		臨床腫瘍学演習4	
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	特別研究 I~III					
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20				臨床腫瘍学セミナー1・2		共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30	臨床腫瘍学演習1	臨床腫瘍学演習2	臨床腫瘍学演習3		臨床腫瘍学演習4	
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	特別研究 I~III					
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						